

# 学習支援レポート

## 特別支援講演を50人が受講！

ジョイラックデイの11月17日に、カレッジの学習室1,2にて、学習支援の集いの特別支援講演会が開催されました。現役生も含めて約50人が受講しました。

堺沢委員長（園15）の挨拶に続いて、神戸市立青陽須磨支援学校の支援部長の岸田博子教諭が、「特別支援教育の今と、障がいのある子供への理解を深める」と題してパワーポイントを使用して講演されました。

発達障がいとその特性、子どもの実態把握と対応の仕方などについて、詳しくわかりやすい説明でした。

同校の特別支援コーディネータの鳥越清敏教諭からも、学校支援ボランティアなどについて、説明を聞きました。



講演後、特別支援する上で困っていることなどについて活発な質問があり、対応策を聞きました。

(写真：永野知己 取材：岡本紘一)

## 神戸空襲パネル写真展開く

神戸空襲写真展が12月7日から15日まで、シルバーカレッジふれあいホールで開かれました。グループわの戦争体験の語り部グループ、神戸空襲を記録する会、シルバーカレッジなど、5者の共催で開かれました。

神戸空襲は、昭和17年4月から20年8月までに計82

日間・128回、米軍B29爆撃機などが神戸を襲い8800人が犠牲となり、15万戸が焼失しました。戦後70年の今、神戸空襲を振り返り、戦争を考え、語り合い、子や孫に平和の尊さを伝えてゆこうと写真展は開か



れました。パネル45枚の裏表に空襲で焼け野原となった神戸市街地や雨あられと投下されるB29の爆弾、炎に追われ逃げ惑う市民らの写真や戦争語り部の体験談を聞いた小学生の感想文などがびっしりと張られました。パネル展を見た人は「神戸空襲の記憶はないが、話は聞いていた。しかし、これほどの悲劇だったとはー」と話していた。

(写真・取材：永野知己)

## カレッジだより



### 20期グループ学習発表会

27年度のグループ学習発表会は、12月7日の食文化専攻をスタートとして2月24日の音楽文化専攻まで、約2か月間にわたって行われます。

合同発表会は、3月2日（水）です

☆各コースの発表日は次の通りです

- 健康福祉コース（12月10日）
- 国際交流・協力コース（12月14日）
- 生活環境コース（1月29日）
- ※総合芸術コース
- 美術・工芸専攻（2月19日）
- 音楽文化専攻（2月24日）
- 園芸専攻（1月29日）
- 食文化専攻（12月7日）

## サポート募金のご報告

(7月1日～12月25日分)

野鳥と自然観察会 3,360円、2015年度音文交歓会 1,600円、13期福祉クラス会 3,008円、橋野美子（一般）5千円=合計12,968円